


個人山行02: 湖南 太神山

コース	アルプス登山口 → 2.0km/37' → 迎不動 → 2.1km/68' → 泣不動 → 1.3km/39' → 太神山 → 1.0km/23' → 分岐 → 1.5km/48' → 矢筈ヶ岳 → 2.0km/51' → 御仏河原 → 1.1km/26' → 富川口 → 1.1km/17' → アルプス登山口		
水平距離	12.1km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
累計高低差	登り762m、下り762m		
標準歩行時間	5 : 09		
実績歩行時間	4 : 59		



山行報告

山行日 2019・5・5 (日) 天候 晴、午後小雨 参加者 18名

行 動 JR石山駅9:25⇒アルプス登山口9:55→迎不動10:26～10:32→泣不動11:27～11:34→不動寺11:55～11:59→太神山12:06～12:16→不動寺(昼食)12:22～13:00→分岐13:18～13:23→矢筈ヶ岳14:18～14:27→御仏河原15:30～15:36→富川口16:14～16:21→アルプス登山口16:37～17:02⇒石山駅17:30～17:36

記 録

単独行なら安全な東海自然歩道の往復コースと決めていたが、18名が参加されたので下山は矢筈ヶ岳～御仏河原コースにした。

迎不動辺りまでは天神川で川遊びをする人の車がたくさん止まっていた。迎不動にトイレがあり小休止。少し登ったところが車止めでここから山道になる。花崗岩が風化して滑りやすい道を登り切るとその後は歩きやすい道が続く。所々に丁石が残されていてこの道が不動寺の参道であることが分かる。また、この参道は東海自然歩道でもあり、信楽を経て柘植へ続いている。泣不動で小休止の後20分歩くと不動寺の山門に着いた。ザックを置いて空身で山頂へ向いピークショットを済ませて山門に戻り昼食をした。巨岩の上に建つ本堂で般若心経を唱えておられた。

下山を始め矢筈ヶ岳分岐に着いたのが13:20、登山口17:02発のバスには乗れると考えて矢筈ヶ岳コースを歩くことにした。下山を急ぐ2名とはここで別れた。小さなアップダウンを繰り返して40分で矢筈ヶ岳の登山口に着いた。矢筈ヶ岳に登らず直接御仏河原へ行く迂回路もある。予想外の小雨が降り始めたので雨対策をして最後の70mの急坂を登り切った。山頂からは琵琶湖方面が開けていた。

下山は登山口に戻らず、あまり歩かれていない踏み跡を辿りながら双耳峰の間を通り抜ける周回道を歩いた。途中の斜面にイワウチワが咲いていた。やがて迂回路と合流し、道なりに歩いて15:30に御仏河原に着いた。ここから富川口までは滑りやすい岩場の谷道を下るのでストックを使った。小雨が降り続き岩が濡れているので滑らないように慎重に下った。

下山で時間を要したので歩行時間の分析をした。上記の通り標準歩行時間5:09に対して実績歩行時間は4:59でほぼ計画通りである。しかし登りは30分早く、下りは20分遅い。これは御仏河原からの道が難路で歩きにくかったからである。